

第 63 回「山形県内企業の景気動向調査」確報

(令和 2 年 5 月調査)

～景況感は大幅に悪化。先行きも悪化の見込み～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲45.3（前回調査比 22.7 ポイント下落）と大幅に悪化した。これは、2004 年 11 月の調査開始以降の最低値である、2009 年 5 月調査の▲46.6 に次いで 2 番目に低い値となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、すべての項目で大幅に下落となった。「人員・人手」は▲8.3 と、2011 年 11 月調査以降プラスで推移し、人手不足を示していたが、今回調査でマイナスに転じた。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が▲13.6（前回調査比 4.2 ポイント上昇）、製造業が▲44.3（前回調査比 21.4 ポイント下落）、卸・小売業が▲63.9（前回調査比 28.9 ポイント下落）、サービス業が▲56.7（前回調査比 43.5 ポイント下落）と、建設業で 4 期ぶりに改善したものの、製造業、卸・小売業、サービス業で大幅に悪化となった。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲44.4（前回調査比 22.6 ポイント下落）、村山北部が▲49.1（前回調査比 31.8 ポイント下落）、最上が▲26.7（前回調査比 17.4 ポイント下落）、置賜が▲68.4（前回調査比 41.1 ポイント下落）、庄内田川が▲36.2（前回調査比 14.4 ポイント下落）、庄内飽海が▲46.0（前回調査比 12.7 ポイント下落）と、すべての地域で悪化となった。
- **先行き見通し**は「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲67.2（今回調査比 21.9 ポイント下落）とさらなる悪化の見込みとなっている。

【特別調査】

- **夏季ボーナスの支給動向**について尋ねたところ、全業種でみると「支給する」と回答した企業の割合は 45.0%と、前年に比べ 13.6 ポイント低下し、5 割を下回った。
- **春季以降の賃金改定動向**について尋ねたところ、賃上げを実施する（した）企業の割合（「ベア・定昇とも実施」+「ベアのみ実施」+「定昇のみ実施」）は、全業種で 40.2%と前年に比べて 10.9 ポイント低下し、4 割台となった。
- **新型コロナウイルス感染症の事業への影響**について、事業活動全体における平常時の経営状況を 100 とした場合の今年度の業績見通しをたずねたところ、全業種で「80～100」が 44.8%と最も多く、次いで「50～79」が 33.0%となっている。

令和 2 年 6 月

株式会社 フィデア情報総研

目次

I. 県内企業の業況	1
1. 概況	1
2. 業種別の動向	2
(1) 業種別の概況	2
(2) 業種別 D I 値の動向	3
① 建設業	3
② 製造業	5
③ 卸・小売業	7
④ サービス業	9
3. 地域別の動向	11
(1) 地域別の概況	11
(2) 地域別 D I 値の動向	12
① 村山南部	12
② 村山北部	13
③ 最 上	14
④ 置 賜	15
⑤ 庄内田川	16
⑥ 庄内飽海	17
II. 景気の天気予報図	18
III. 特別調査	19
1. 夏季ボーナスについて	19
(1) 支給予定動向	19
(2) 支給予定額	21
2. 春季以降の賃金改定動向について	23
3. 新型コロナウイルス感染症の事業への影響について	24
<参考資料 I : 地域別・業種別回答率>	25
<参考資料 II : 調査の概要>	25

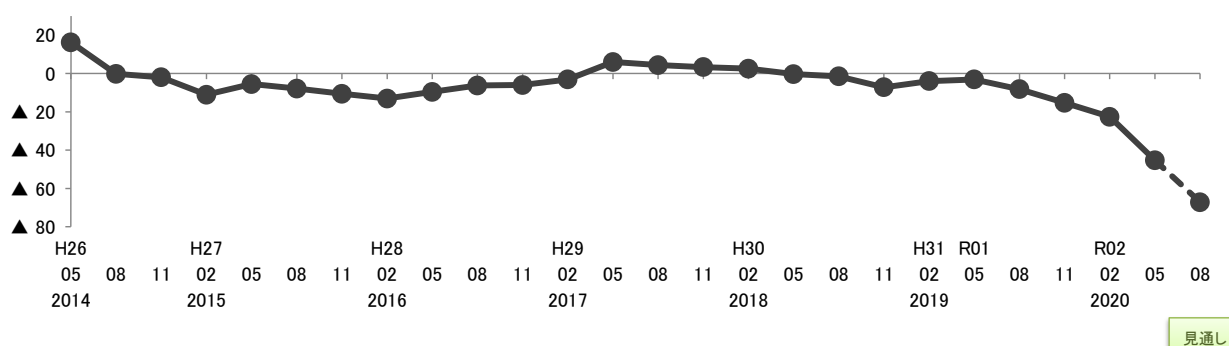
I. 県内企業の業況

1. 概況

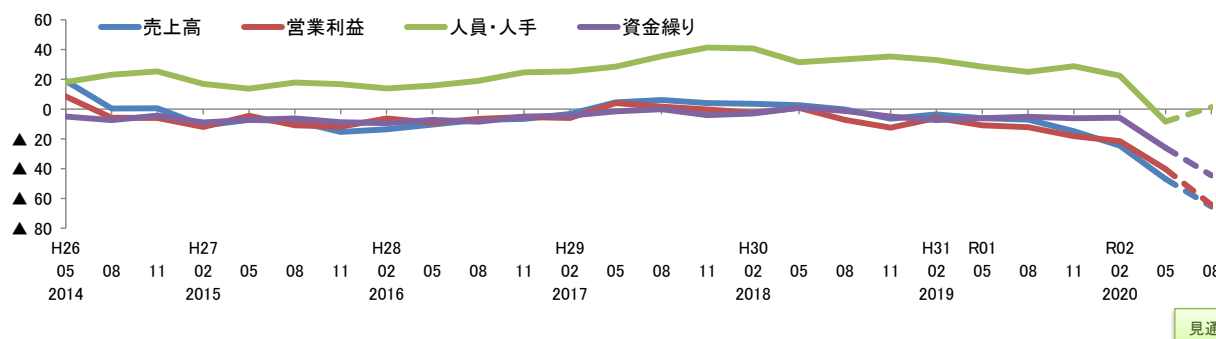
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲45.3（前回調査比 22.7 ポイント下落）と大幅に悪化した。これは、2004 年 11 月の調査開始以降の最低値である、2009 年 5 月調査の▲46.6 に次いで 2 番目に低い値となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、すべての項目で大幅に下落となった。「人員・人手」は▲8.3 と、2011 年 11 月調査以降プラスで推移し、人手不足を示していたが、今回調査でマイナスに転じた。総じて、新型コロナウイルス感染症の影響により、業況悪化の状況がみられる。

先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲67.2（今回調査比 21.9 ポイント下落）とさらなる悪化の見込みとなっている。

図表 1 全業種「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
R 01. 05 (n=415)	▲ 3.1	(0.9)	▲ 20.8	▲ 6.0	▲ 10.8	28.5	▲ 6.1
R 01. 08 (n=416)	▲ 8.2	(▲ 5.1)	▲ 18.8	▲ 7.0	▲ 12.1	25.0	▲ 5.1
R 01. 11 (n=385)	▲ 15.3	(▲ 7.1)	▲ 12.7	▲ 14.8	▲ 18.2	28.8	▲ 6.0
R 02. 02 (n=412)	▲ 22.6	(▲ 7.3)	▲ 20.0	▲ 24.5	▲ 21.4	22.5	▲ 5.8
R 02. 05 (n=433)	▲ 45.3	(▲ 22.7)	▲ 31.8	▲ 46.8	▲ 40.2	▲ 8.3	▲ 25.9
前回調査比	-	-	-	(▲ 22.3)	(▲ 18.8)	(▲ 30.8)	(▲ 20.1)
先行き見通し	▲ 67.2	-	-	▲ 65.5	▲ 64.4	1.4	▲ 44.5
今回調査比	(▲ 21.9)	-	-	(▲ 18.7)	(▲ 24.2)	(9.7)	(▲ 18.6)

※「売上高」DI値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

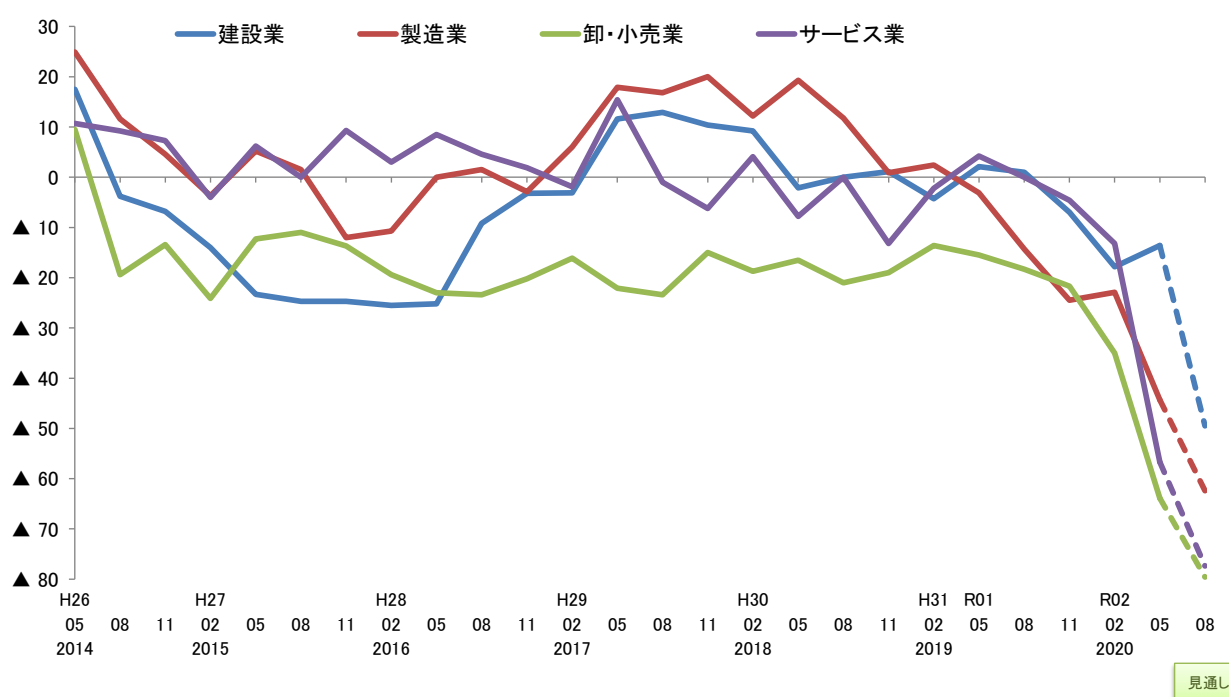
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が▲13.6（前回調査比 4.2 ポイント上昇）、製造業が▲44.3（前回調査比 21.4 ポイント下落）、卸・小売業が▲63.9（前回調査比 28.9 ポイント下落）、サービス業が▲56.7（前回調査比 43.5 ポイント下落）と、建設業で 4 期ぶりに改善したものの、製造業、卸・小売業、サービス業で大幅に悪化となった。

業況の先行き見通しは、すべての業種で悪化の見込みとなっている。

図表 3 業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
R 01. 05 (n=415)	▲ 3.1	2.1	▲ 3.1	▲ 15.5	4.2
R 01. 08 (n=416)	▲ 8.2	1.0	▲ 14.3	▲ 18.3	0.0
R 01. 11 (n=385)	▲ 15.3	▲ 7.0	▲ 24.5	▲ 21.7	▲ 4.6
R 02. 02 (n=412)	▲ 22.6	▲ 17.8	▲ 22.9	▲ 35.0	▲ 13.2
R 02. 05 (n=433)	▲ 45.3	▲ 13.6	▲ 44.3	▲ 63.9	▲ 56.7
前回調査比	(▲ 22.7)	(4.2)	(▲ 21.4)	(▲ 28.9)	(▲ 43.5)
先行き見通し	▲ 67.2	▲ 49.5	▲ 62.4	▲ 79.6	▲ 77.4
今回調査比	(▲ 21.9)	(▲ 35.9)	(▲ 18.1)	(▲ 15.7)	(▲ 20.7)

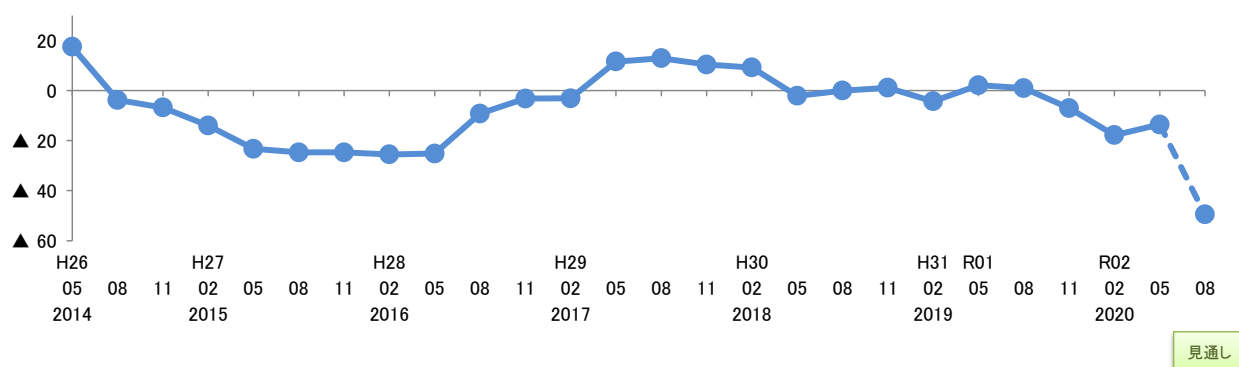
(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

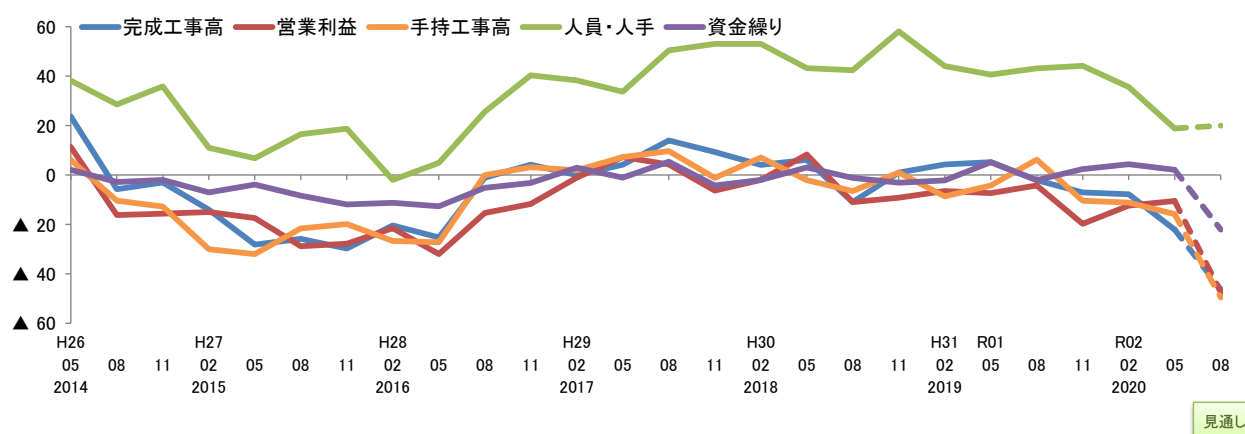
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲13.6（前回調査比 4.2 ポイント上昇）と、4 期ぶりに改善となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「営業利益」が改善した一方、「完成工事高」「手持工事高」「資金繰り」が悪化した。「人員・人手」は 2 期連続でプラス幅が縮小した。各社のコメントから、一部の企業で、繰越工事などにより業況が良好に推移した様子がうかがえる。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、資機材の納入に遅れがでる等の影響が見受けられる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲49.5（今回調査比 35.9 ポイント下落）とさらなる悪化が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
R 01. 05 (n=96)	2.1	(6.4)	▲ 27.9	5.2	▲ 7.3	▲ 4.2	40.6	5.2
R 01. 08 (n=95)	1.0	(▲ 1.1)	▲ 16.6	▲ 2.1	▲ 4.2	6.3	43.2	▲ 2.1
R 01. 11 (n=86)	▲ 7.0	(▲ 8.0)	▲ 14.8	▲ 7.0	▲ 19.7	▲ 10.4	44.2	2.4
R 02. 02 (n=90)	▲ 17.8	(▲ 10.8)	▲ 27.9	▲ 7.8	▲ 12.3	▲ 11.1	35.6	4.4
R 02. 05 (n=95)	▲ 13.6	(4.2)	▲ 31.1	▲ 22.1	▲ 10.5	▲ 15.8	18.9	2.1
前回調査比	-	-	-	(▲ 14.3)	(1.8)	(▲ 4.7)	(▲ 16.7)	(▲ 2.3)
先行き見通し	▲ 49.5	-	-	▲ 46.3	▲ 47.4	▲ 49.5	20.0	▲ 22.1
今回調査比	(▲ 35.9)	-	-	(▲ 24.2)	(▲ 36.9)	(▲ 33.7)	(1.1)	(▲ 24.2)

業界の声

Q. 今期の業況について

- コロナウイルスの影響で工期延長などの影響が出ている。また、県外からの作業員が集まらないなど人的な問題も合わせて発生している。(村山南)
- 冬季除雪がほとんどなかったため、人員の過剰感があった。そのため公共工事に人員を集中し、予定工期より早く完成し、早期発注を待っていた。(最上)
- 民間の設備投資の見合わせを感じている。(最上)
- 会議や出張が減少している。(置賜)
- 元請けの指示により休業した。(庄内田川)
- コロナの影響は、土木工事には今のところ少ないが、今後はわからない。(庄内田川)
- 電力関連の業種であり、今のところ、新型コロナウイルスによる大きなダメージはない。今後の市況の動向によりどう影響を受けるのか、見通しが全く立たないため不安要素は多い。(庄内飽海)
- 民間工事においては、発注の先送り等の影響がでている。(庄内飽海)

Q. 来期の見通しや対策等について

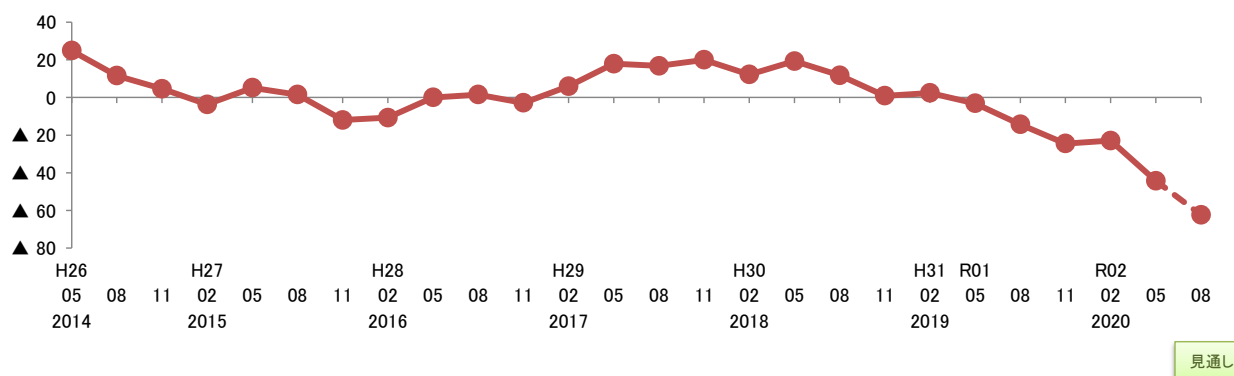
- 今後の発注状況を注視している。手持ち工事は前年と同程度確保しているが、今年度の受注が順調に確保できるかが問題である。(村山南)
- 工事量の減少による売り上げの減少が、今後も続く可能性がある。状況によっては、一時帰休の必要がある。(村山北)
- 民間工事の停滞・計画中止が予想される。(最上)
- 技術者不足であり、採用に難儀している。(最上)
- コロナ前までは順調だったが、これから先はどうかかわからない。(置賜)
- 社員へのコロナ感染対策として、消毒液やマスクの支給のほか、可能な限り 1 人 1 台で現場までの通勤をすることや、昼食場所の確保により、いくらかでも距離を確保している。(庄内飽海)
- 新型コロナウイルス感染症による影響は夏以降に出てくると思う。公共工事は土木工事が順調に発注されれば特に問題ないと思うが、建築関係は資機材の納入に若干影響が出ており、予断を許さない状況である。(庄内飽海)

② 製造業

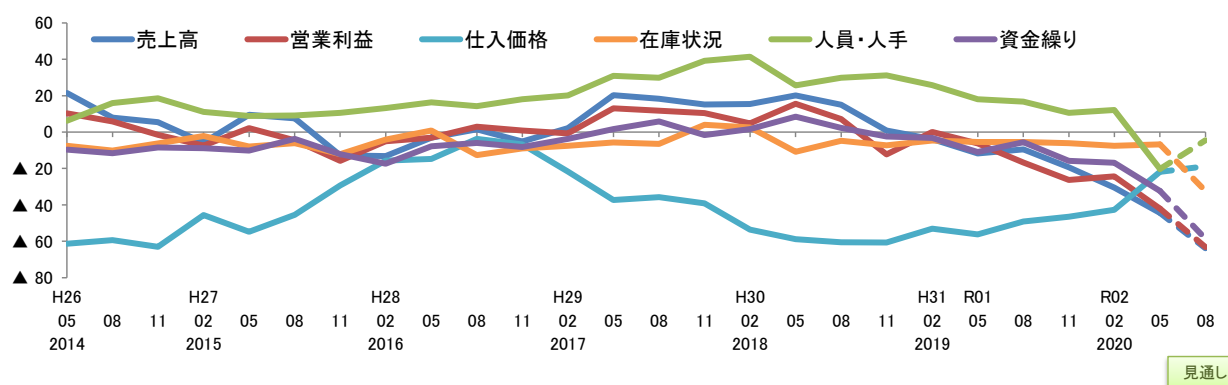
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲44.3（前回調査比 21.4 ポイント下落）と悪化した。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」「営業利益」「資金繰り」が悪化した一方、「仕入価格」が大幅に改善し、「在庫状況」はほぼ横ばいとなった。「人員・人手」は大幅に下落し、マイナスに転じた。各社のコメントから、新型コロナウイルス感染症の影響により、部品や原材料の調達の遅れ、受注の減少といった影響がうかがえる。食料品製造業では、いわゆる巣ごもり需要により量販店やスーパー向けは堅調なものの、外食などの業務用については大幅に悪化している状況が見受けられる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲62.4（今回調査比 18.1 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員・人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
R 01. 05 (n=128)	▲ 3.1	(▲ 5.5)	▲ 12.5	▲ 11.7	▲ 6.2	▲ 56.2	▲ 5.5	18.0	▲ 10.9
R 01. 08 (n=126)	▲ 14.3	(▲ 11.2)	▲ 16.4	▲ 9.5	▲ 16.7	▲ 49.2	▲ 5.5	16.7	▲ 5.6
R 01. 11 (n=114)	▲ 24.5	(▲ 10.2)	▲ 15.9	▲ 19.3	▲ 26.3	▲ 46.5	▲ 6.1	10.5	▲ 15.8
R 02. 02 (n=131)	▲ 22.9	(1.6)	▲ 13.1	▲ 30.5	▲ 24.4	▲ 42.7	▲ 7.6	12.2	▲ 16.8
R 02. 05 (n=133)	▲ 44.3	(▲ 21.4)	▲ 29.0	▲ 44.4	▲ 42.1	▲ 21.8	▲ 6.8	▲ 20.3	▲ 32.4
前回調査比	-	-	-	(▲ 13.9)	(▲ 17.7)	(20.9)	(0.8)	(▲ 32.5)	(▲ 15.6)
先行き見通し	▲ 62.4	-	-	▲ 63.9	▲ 63.2	▲ 18.8	▲ 32.3	▲ 4.5	▲ 58.6
今回調査比	(▲ 18.1)	-	-	(▲ 19.5)	(▲ 21.1)	(3.0)	(▲ 25.5)	(15.8)	(▲ 26.2)

Q. 今期の業況について

業界の声

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止や販売促進活動の自粛が相次ぎ、主に商業印刷物の需要が大きく減少している。(村山南)
- コロナウイルスの影響は非常に大きい。お客様の納品先が海外であるところが多く、海外からのオーダーのキャンセル、納品延期要請が多く、4月～6月にかけて当社も納品延期に応じている。(村山北)
- 同じ業界でも、大手が供給するスーパーマーケット向けの売り上げは増えているが、観光地や進物品が中心の製品の売り上げは全減に近い。(村山北)
- 4月中旬位までは売り上げの極端な激減はなかったが、4月後半位からゴールデンウィークにかけて発注元の大幅な休業増の通知が相次ぎ、大きく売り上げが下がっている状況で、同業者も同様の動向だった。(置賜)
- 量販店向けの食品はおおむね好調。外食（ホテル、レストラン等）向けは危機的不振。(庄内田川)
- 外食産業がストップしたため、売り上げが落ちた。(庄内飽海)
- 海外製造の遅れでパーツがそろわず、仕入れの段階で納期に遅れが出ている。よって代替品を調達して何とか間に合わせ、甚大な減少を抑えることができたが、全体的には前年より売り上げが減少した。(庄内飽海)

Q. 来期の見通しや対策等について

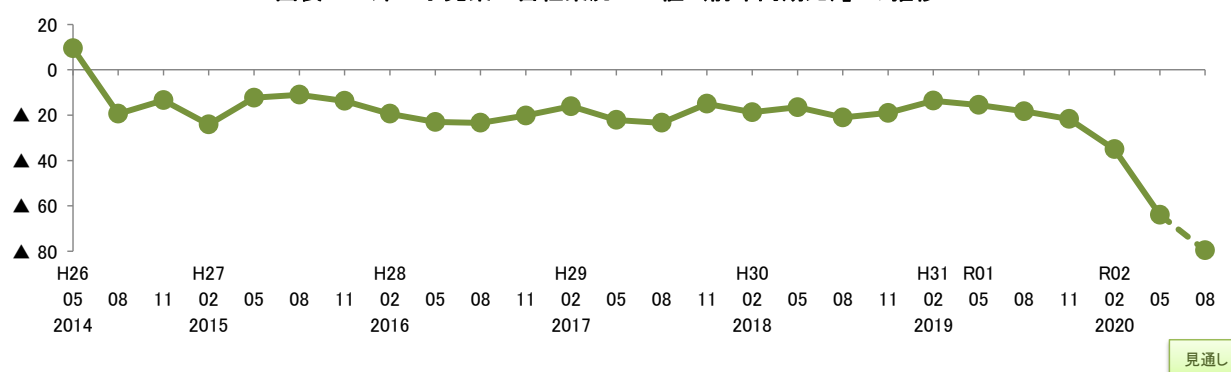
- 政府の補助金や融資、支援金の対象外なので運転資金の確保に苦慮している。(村山南)
- 来期は、新型コロナの終息がなければ、リーマンショック以上の大恐慌になると予想している。(最上)
- 百貨店、専門店などの休業で売り上げが見込めない。(置賜)
- 新型コロナウイルスの影響で和服の販売会等々が中止。業界の動きが止まっている状態。(置賜)
- 飲食店や得意先の温泉旅館は、休業だけでなく、存続も厳しいと言われ、今後の商売に展望が開けない。(庄内田川)
- 部材は通常より早めに、かつ多めに手配をしているが、今後受注が減る可能性もあり、手配数量の決定が難しい。(庄内田川)

③ 卸・小売業

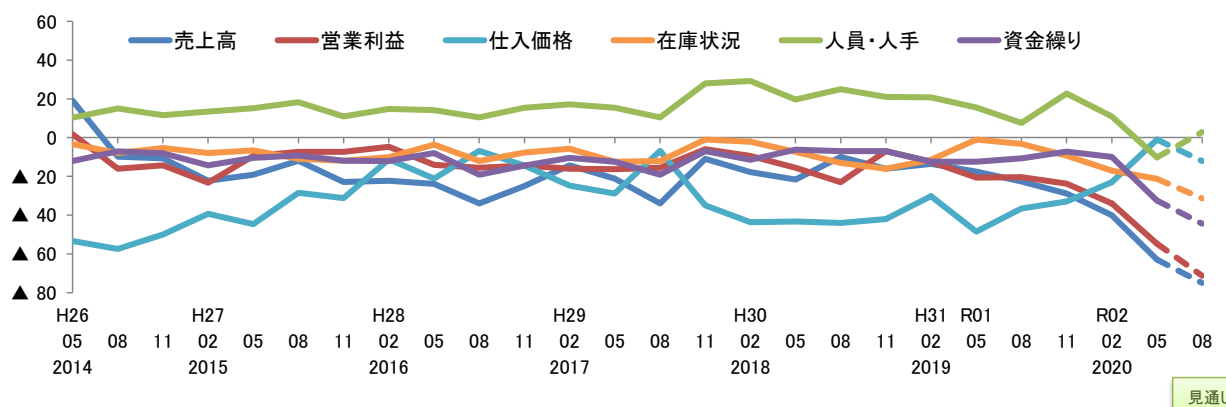
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲63.9（前回調査比 28.9 ポイント下落）と5期連続で悪化となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「売上高」「営業利益」「在庫状況」「資金繰り」の4項目が悪化した一方、「仕入価格」が4期連続で改善した。「人員・人手」は2期連続で下落し、今回調査では▲10.2（前回調査比 21.2 ポイント下落）とマイナスに転じた。各社のコメントからは、新型コロナウイルス感染症の影響による外食や観光等の自粛により、業務用食材や物品等の売上が減少している状況がうかがえる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲79.6（今回調査比 15.7 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測							
R 01.05（n=97）	▲ 15.5	（▲ 1.9）	▲ 31.3	▲ 17.5	▲ 20.7	▲ 48.5	▲ 1.0	15.5	▲ 12.4
R 01.08（n=93）	▲ 18.3	（▲ 2.8）	▲ 19.6	▲ 22.6	▲ 20.4	▲ 36.6	▲ 3.2	7.6	▲ 10.7
R 01.11（n=97）	▲ 21.7	（▲ 3.4）	▲ 12.9	▲ 28.8	▲ 23.7	▲ 33.0	▲ 9.3	22.7	▲ 7.2
R 02.02（n=100）	▲ 35.0	（▲ 13.3）	▲ 30.9	▲ 40.0	▲ 34.0	▲ 23.0	▲ 17.0	11.0	▲ 10.0
R 02.05（n=108）	▲ 63.9	（▲ 28.9）	▲ 39.0	▲ 62.9	▲ 54.7	▲ 1.0	▲ 21.3	▲ 10.2	▲ 32.4
前回調査比	-	-	-	（▲ 22.9）	（▲ 20.7）	（22.0）	（▲ 4.3）	（▲ 21.2）	（▲ 22.4）
先行き見通し	▲ 79.6	-	-	▲ 75.0	▲ 71.3	▲ 12.1	▲ 31.4	2.8	▲ 44.4
今回調査比	（▲ 15.7）	-	-	（▲ 12.1）	（▲ 16.6）	（▲ 11.1）	（▲ 10.1）	（13.0）	（▲ 12.0）

Q. 今期の業況について

業界の声

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、次亜塩素酸空間除菌脱臭器の受注増加に対応できない状況にある。(村山南)
- 外食、観光業の自粛とインバウンドの停止の影響で、業務用食材がほぼストップしている。(村山南)
- 葬儀の規模がかなり縮小されているし、先行きの不安から仏壇や墓石の買い控え傾向が見られる。(置賜)
- 特に飲食部門の客数がかなり減少している。(5～6割減)(庄内田川)
- 暖冬のため売り上げがダウンして厳しい。コロナの影響はまだ出ていない。(庄内飽海)
- 業務用の販路が全くと言っていいほどなくなった。今まで卸でまとめて出荷していた商品がそのまま在庫になっている。このままでは長期在庫になり、売り物にならなくなる。今の段階では打つ手がない。(庄内飽海)

Q. 来期の見通しや対策等について

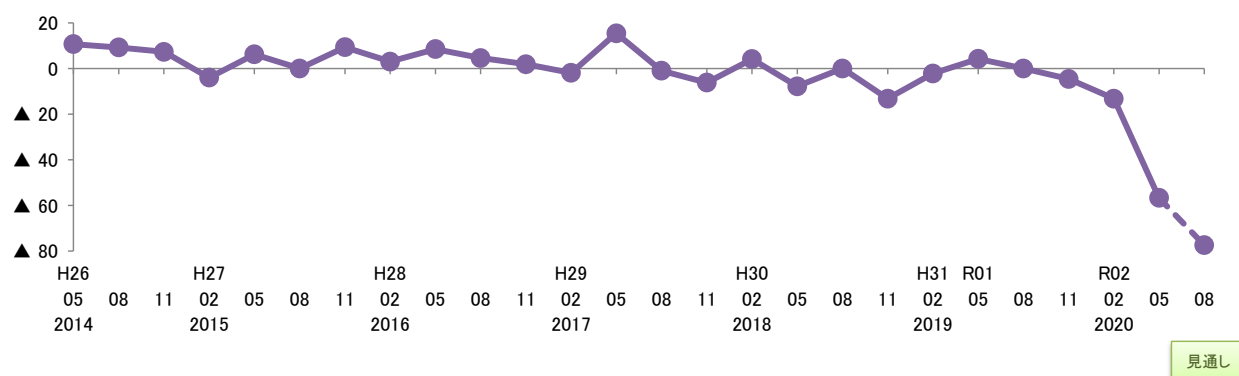
- 来期におけるイベントも既に中止となるものが多く、コロナの影響が当面続き、厳しい状況が改善される見込みは見いだせない。(村山南)
- お客様によってはコロナの影響度合いが少ないが、主力のお客様での先行き不透明感を加味すると、全体で見れば相当分のマイナスを想定する必要がある。(村山南)
- 新型コロナウイルス感染症が、特に水産部門に大きく影響している。一方、加工食品部門は内食・中食需要により前年比 100%以上で推移。(村山北)
- せめて、自粛が解けないとどうしようもない。史上最低の売り上げになる可能性大。終息しない限り、来期はもっとひどくなる。(置賜)
- コロナの状況がいつになったらはっきりするのかによる。飲食店、医院などに納品が休まれている現状である。(庄内田川)
- 自粛または休業要請などはなかった業種だが、前面で対応している社員は本当に大変な事だったと思う。なんの補償もなく万が一の瀬戸際だったことから、何か手だてを考える必要を感じる。(庄内飽海)

④ サービス業

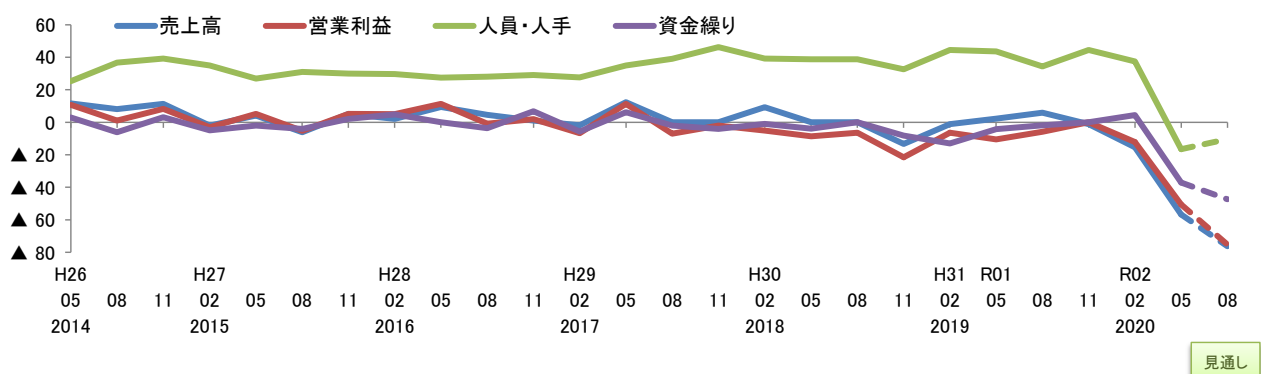
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲56.7（前回調査比 43.5 ポイント下落）と大幅に悪化した。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「売上高」「営業利益」「資金繰り」が大幅に悪化した。「人員・人手」は2期連続で下落し、今回調査でマイナスに転じた。各社のコメントから、旅館、ホテルといった観光関連をはじめ、運送業や娯楽業など全般的に業況悪化の状況がうかがえる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲77.4（今回調査比 20.7 ポイント下落）とさらなる悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
R 01.05 (n=94)	4.2	(6.4)	▲ 14.1	2.2	▲ 10.6	43.6	▲ 4.3
R 01.08 (n=102)	0.0	(▲ 4.2)	▲ 23.4	5.9	▲ 5.9	34.3	▲ 1.9
R 01.11 (n=88)	▲ 4.6	(▲ 4.6)	▲ 6.9	▲ 1.1	0.0	44.4	0.0
R 02.02 (n=91)	▲ 13.2	(▲ 8.6)	▲ 9.1	▲ 15.4	▲ 12.1	37.4	4.4
R 02.05 (n=97)	▲ 56.7	(▲ 43.5)	▲ 28.6	▲ 56.7	▲ 50.6	▲ 16.5	▲ 37.1
前回調査比	-	-	-	(▲ 41.3)	(▲ 38.5)	(▲ 53.9)	(▲ 41.5)
先行き見通し	▲ 77.4	-	-	▲ 76.3	▲ 75.3	▲ 10.4	▲ 47.4
今回調査比	(▲ 20.7)	-	-	(▲ 19.6)	(▲ 24.7)	(6.1)	(▲ 10.3)

Q. 今期の業況について

業界の声

- 3 月、4 月の歓送迎会シーズンが、新型コロナの影響で、前年同月比で 30%前後まで落ち込んだ。(村山南)
- 新型コロナの影響で、取り扱い物量全体では前年割れが続いている。(村山南)
- 売り上げが昨年の 8 割ほど。仕入をおさえて在庫の処分等で利益を確保している。コロナが収まれば変わることを期待する。(村山北)
- 特に置賜地域は暖冬による雪対策の仕事の落ち込みに追い打ちをかける形で、新型コロナウイルスによる作業抑制指導、さらには働き方改革による時間外作業の制限も加わり、非常に厳しい。(置賜)
- コロナウイルスにより賃料の減額、支払遅延などの影響が出ている。また、勤務先の営業不振により、購入予定が未定になるなど、一時の市場の縮小は出てきている。(置賜)
- テレワーク、web 会議等を活用する企業が増えたことから、それらに関連した売り上げが増えている。(ノート PC、Wi-Fi 回線、液晶ディスプレイ、カメラ、マイク等)(庄内田川)
- 壊滅的な状況である。6 月まで終息しない場合、今年一年は売上高において 80~90%減になる予定。(庄内飽海)

Q. 来期の見通しや対策等について

- 5 月いっぱい休業予定であり、仮に 6 月から営業再開してもすぐに従来の来客数にはなかなか辿り着かないと思われ、苦戦を強いられると思う。(村山南)
- 設備投資が不透明。特に新規分の抑制が予想される。(村山南)
- 働き方改革関連、また新型コロナウイルス感染防止対策として、テレワークや直接的な接触を少なくする働き方を計画中。(村山北)
- インターネット販売の受注が増えてきているので、積極的に対応していきたい。(最上)
- 発注先が 5 割出勤体制をとっており、発注が遅れている感がある。この影響により、今後の業績はわからない。(庄内田川)
- 当社は団体客が多いため、コロナ収束までは厳しい推移が続くと予想される。(庄内飽海)

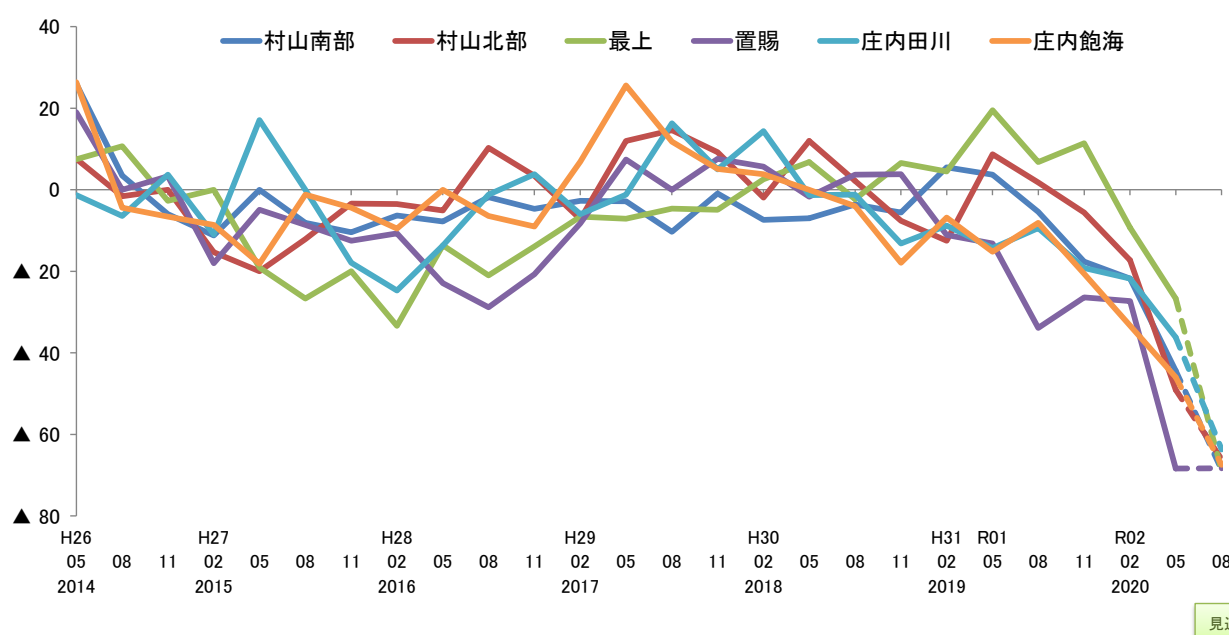
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲44.4（前回調査比 22.6 ポイント下落）、村山北部が▲49.1（前回調査比 31.8 ポイント下落）、最上が▲26.7（前回調査比 17.4 ポイント下落）、置賜が▲68.4（前回調査比 41.1 ポイント下落）、庄内田川が▲36.2（前回調査比 14.4 ポイント下落）、庄内飽海が▲46.0（前回調査比 12.7 ポイント下落）と、すべての地域で悪化となった。

業況の先行き見通しをみると、置賜でおおむね横ばい、その他の 5 地域では悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
R 01. 05 (n=415)	▲ 3.1	3.7	8.7	19.5	▲ 13.2	▲ 14.3	▲ 15.2
R 01. 08 (n=416)	▲ 8.2	▲ 5.4	1.8	6.8	▲ 33.9	▲ 9.4	▲ 8.1
R 01. 11 (n=385)	▲ 15.3	▲ 17.6	▲ 5.6	11.4	▲ 26.4	▲ 19.2	▲ 20.6
R 02. 02 (n=412)	▲ 22.6	▲ 21.8	▲ 17.3	▲ 9.3	▲ 27.3	▲ 21.8	▲ 33.3
R 02. 05 (n=433)	▲ 45.3	▲ 44.4	▲ 49.1	▲ 26.7	▲ 68.4	▲ 36.2	▲ 46.0
前回調査比	(▲ 22.7)	(▲ 22.6)	(▲ 31.8)	(▲ 17.4)	(▲ 41.1)	(▲ 14.4)	(▲ 12.7)
先行き見通し	▲ 67.2	▲ 68.7	▲ 66.1	▲ 68.9	▲ 68.3	▲ 63.7	▲ 67.5
今回調査比	(▲ 21.9)	(▲ 24.3)	(▲ 17.0)	(▲ 42.2)	(0.1)	(▲ 27.5)	(▲ 21.5)

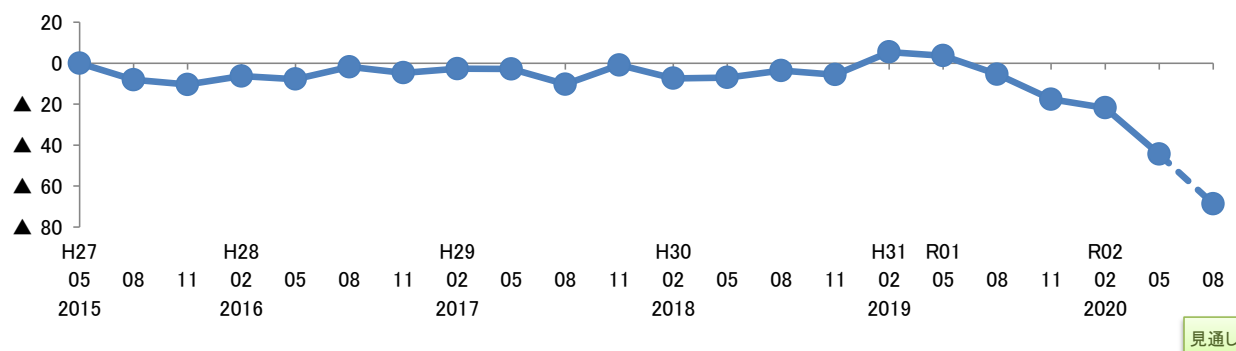
(2) 地域別 D I 値の動向

① 村山南部

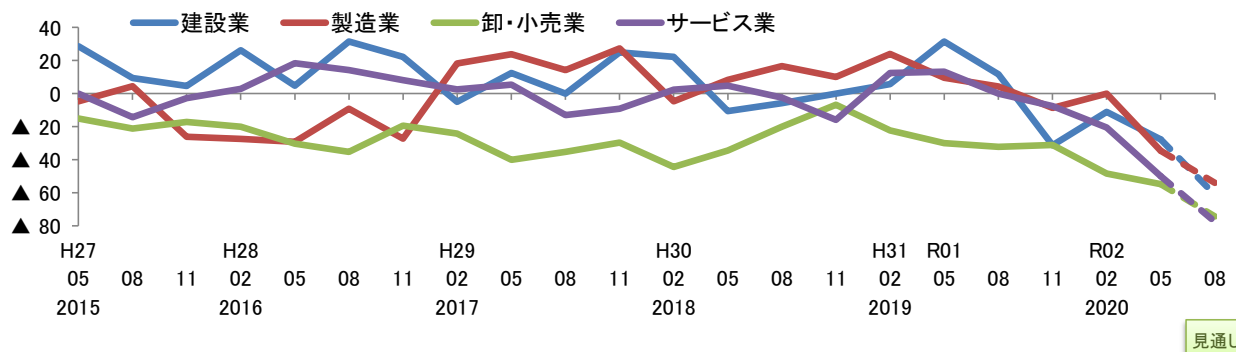
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲44.4（前回調査比 22.6 ポイント下落）と 5 期連続で悪化となった。業種別にみても、すべての業種で悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲68.7（今回調査比 24.3 ポイント下落）とさらなる悪化の見込みとなっている。

図表 13 村山南部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 14 村山南部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

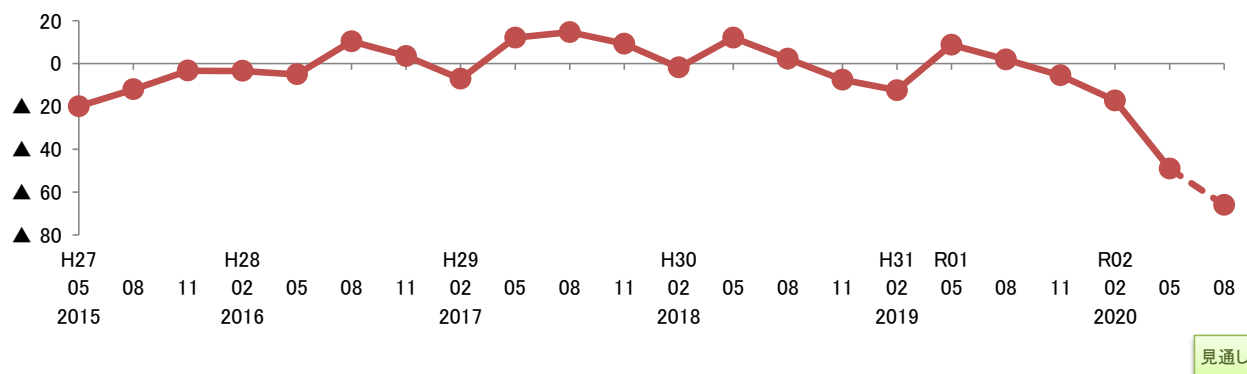
村山南部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 01. 05 (n=108)	3.7	(▲ 1.8)	▲ 12.9	31.5	9.6	▲ 30.0	13.2
R 01. 08 (n=112)	▲ 5.4	(▲ 9.1)	▲ 12.9	11.7	4.3	▲ 32.2	0.0
R 01. 11 (n=108)	▲ 17.6	(▲ 12.2)	▲ 5.3	▲ 31.2	▲ 8.7	▲ 31.0	▲ 7.5
R 02. 02 (n=115)	▲ 21.8	(▲ 4.2)	▲ 17.6	▲ 11.1	0.0	▲ 48.3	▲ 20.5
R 02. 05 (n=115)	▲ 44.4	(▲ 22.6)	▲ 35.6	▲ 27.7	▲ 34.6	▲ 54.8	▲ 50.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 16.6)	(▲ 34.6)	(▲ 6.5)	(▲ 29.5)
先行き見通し	▲ 68.7	-	-	▲ 61.1	▲ 53.9	▲ 74.2	▲ 77.5
今回調査比	(▲ 24.3)	-	-	(▲ 33.4)	(▲ 19.3)	(▲ 19.4)	(▲ 27.5)

② 村山北部

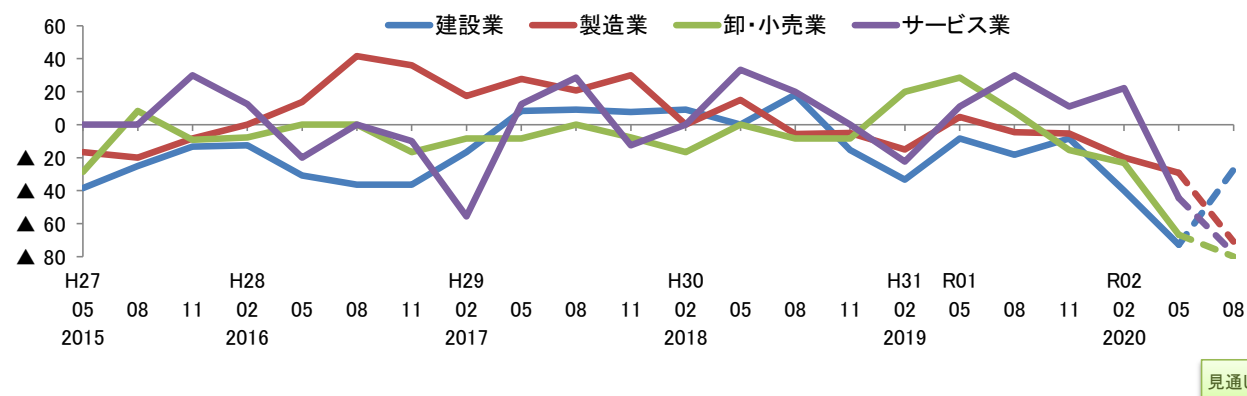
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲49.1（前回調査比 31.8 ポイント下落）と 4 期連続で悪化となった。業種別にみても、すべての業種で悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲66.1（今回調査比 17.0 ポイント下落）とさらなる悪化が見込まれている。

図表 15 村山北部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 16 村山北部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

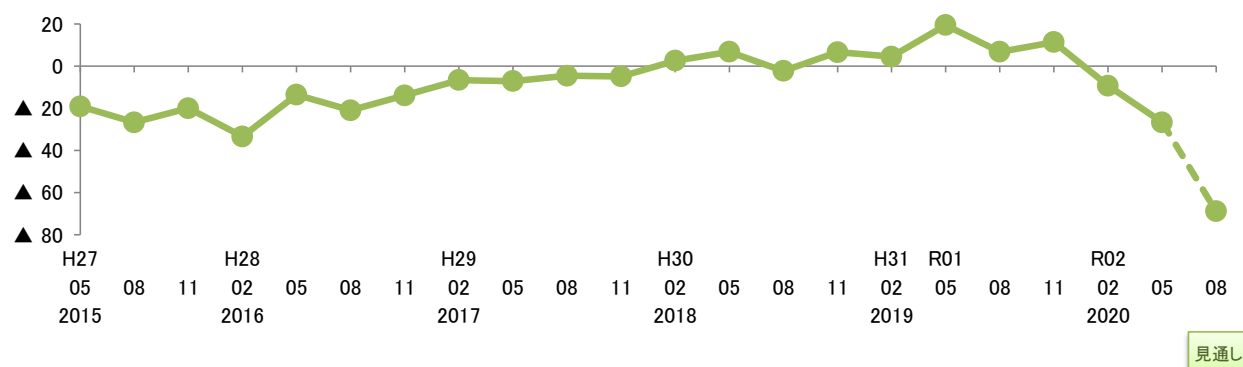
村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 01. 05 (n=57)	8.7	(21.2)	▲ 31.3	▲ 8.4	4.6	28.6	11.1
R 01. 08 (n=56)	1.8	(▲ 6.9)	▲ 3.6	▲ 18.2	▲ 4.6	7.7	30.0
R 01. 11 (n=53)	▲ 5.6	(▲ 7.4)	▲ 7.1	▲ 8.3	▲ 5.3	▲ 15.4	11.1
R 02. 02 (n=52)	▲ 17.3	(▲ 11.7)	▲ 32.1	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 23.1	22.2
R 02. 05 (n=59)	▲ 49.1	(▲ 31.8)	▲ 30.8	▲ 72.7	▲ 29.2	▲ 66.7	▲ 44.5
前回調査比	-	-	-	(▲ 32.7)	(▲ 9.2)	(▲ 43.6)	(▲ 66.7)
先行き見通し	▲ 66.1	-	-	▲ 27.3	▲ 70.9	▲ 80.0	▲ 77.8
今回調査比	(▲ 17.0)	-	-	(45.4)	(▲ 41.7)	(▲ 13.3)	(▲ 33.3)

③ 最 上

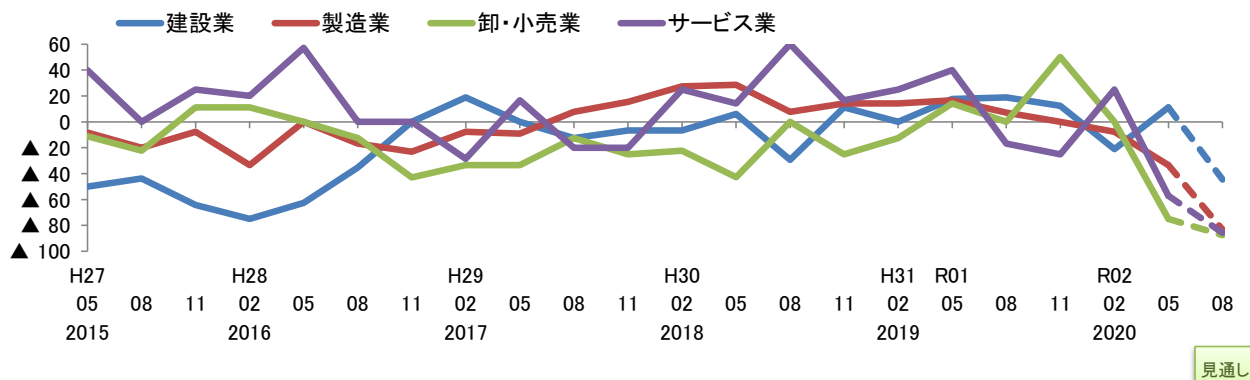
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲26.7（前回調査比 17.4 ポイント下落）と 2 期連続で悪化となった。業種別にみると、建設業は 3 期ぶりに改善し、D I 値がプラスに転じたものの、製造業、卸・小売業、サービス業で悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲68.9（今回調査比 42.2 ポイント下落）とさらなる悪化の見込みとなっている。

図表 17 最上「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 18 最上「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

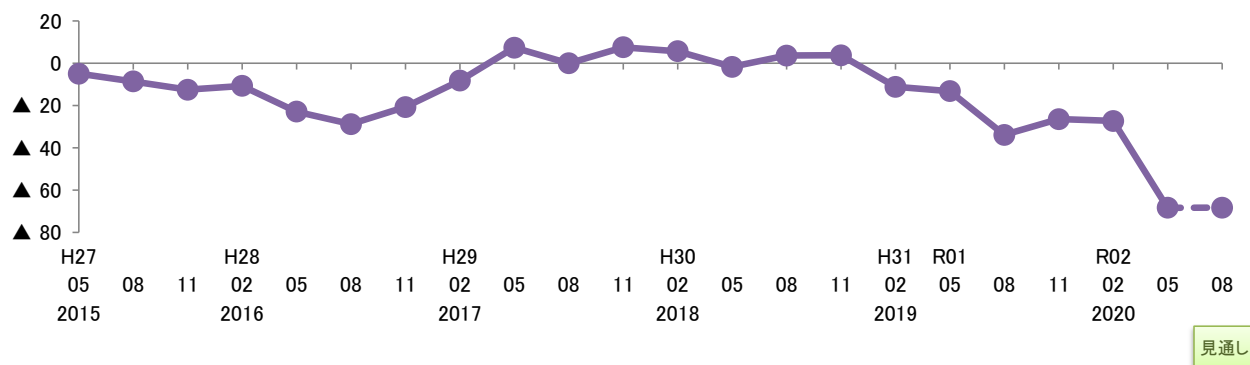
最 上 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービ
R 01. 05 (n=41)	19.5	(15.0)	▲ 9.0	17.7	16.7	14.3	40.0
R 01. 08 (n=44)	6.8	(▲ 12.7)	4.9	18.8	7.2	0.0	▲ 16.7
R 01. 11 (n=35)	11.4	(4.6)	2.2	12.5	0.0	50.0	▲ 25.0
R 02. 02 (n=43)	▲ 9.3	(▲ 20.7)	▲ 5.7	▲ 21.0	▲ 7.7	0.0	25.0
R 02. 05 (n=45)	▲ 26.7	(▲ 17.4)	▲ 27.9	11.1	▲ 33.4	▲ 75.0	▲ 57.1
前回調査比	-	-	-	(32.1)	(▲ 25.7)	(▲ 75.0)	(▲ 82.1)
先行き見通し	▲ 68.9	-	-	▲ 44.5	▲ 83.3	▲ 87.5	▲ 85.7
今回調査比	(▲ 42.2)	-	-	(▲ 55.6)	(▲ 49.9)	(▲ 12.5)	(▲ 28.6)

④ 置 賜

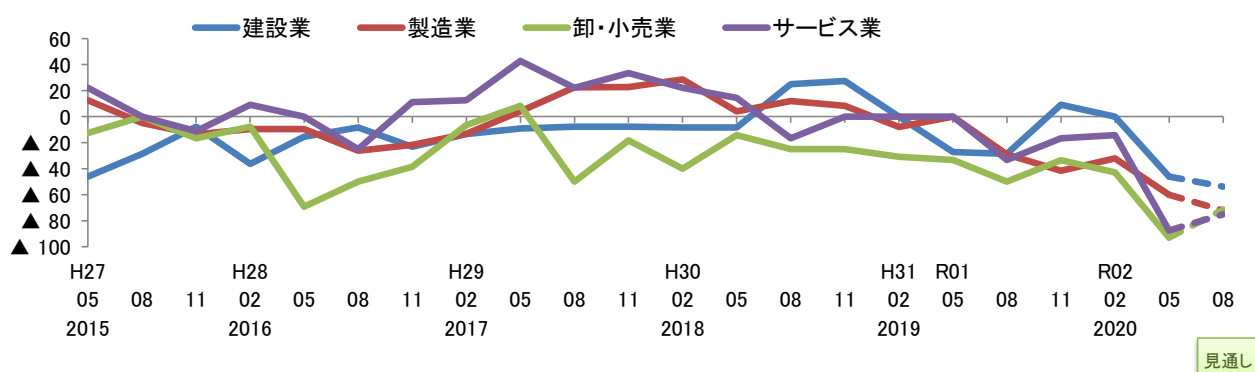
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲68.4（前回調査比 41.1 ポイント下落）と大幅に悪化となった。業種別にみても、すべての業種で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲68.3（今回調査比 0.1 ポイント上昇）とおむね横ばいが見込まれている。

図表 19 置賜「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 20 置賜「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

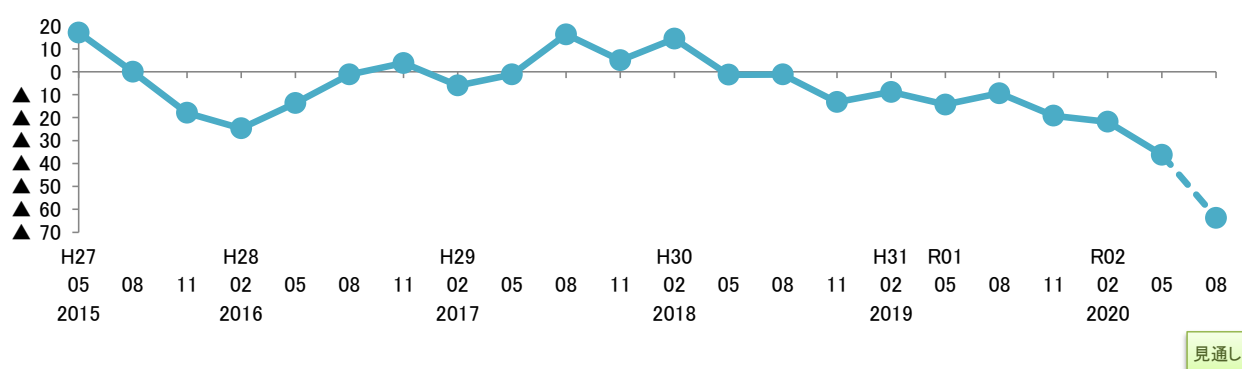
置 賜 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建 設	製 造	卸・小売	サービ
R 01. 05 (n=53)	▲ 13.2	(▲ 2.1)	▲ 24.0	▲ 27.2	0.0	▲ 33.3	0.0
R 01. 08 (n=56)	▲ 33.9	(▲ 20.7)	▲ 24.5	▲ 28.6	▲ 29.1	▲ 50.0	▲ 33.3
R 01. 11 (n=53)	▲ 26.4	(7.5)	▲ 35.7	9.1	▲ 41.6	▲ 33.4	▲ 16.6
R 02. 02 (n=55)	▲ 27.3	(▲ 0.9)	▲ 24.5	0.0	▲ 32.0	▲ 42.8	▲ 14.3
R 02. 05 (n=60)	▲ 68.4	(▲ 41.1)	▲ 47.2	▲ 46.1	▲ 60.0	▲ 92.9	▲ 87.5
前回調査比	-	-	-	(▲ 46.1)	(▲ 28.0)	(▲ 50.1)	(▲ 73.2)
先行き見通し	▲ 68.3	-	-	▲ 53.8	▲ 72.0	▲ 71.5	▲ 75.0
今回調査比	(0.1)	-	-	(▲ 7.7)	(▲ 12.0)	(21.4)	(12.5)

⑤ 庄内田川

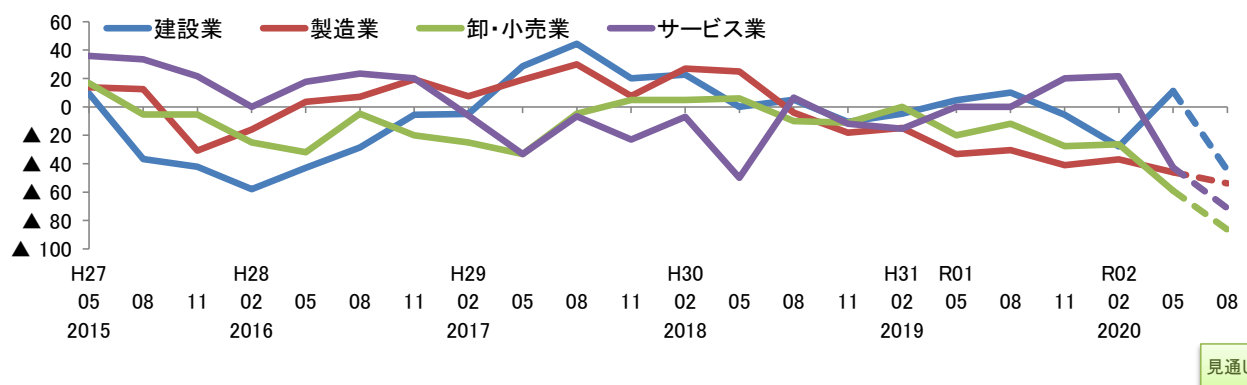
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲36.2（前回調査比 14.4 ポイント下落）と 3 期連続で悪化となった。業種別にみると、建設業では 3 期ぶりに改善したものの、製造業、卸・小売業、サービス業で悪化となった。サービス業では D I 値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲63.7（今回調査 27.5 ポイント下落）とさらなる悪化が見込まれている。

図表 21 庄内田川「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 22 庄内田川「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



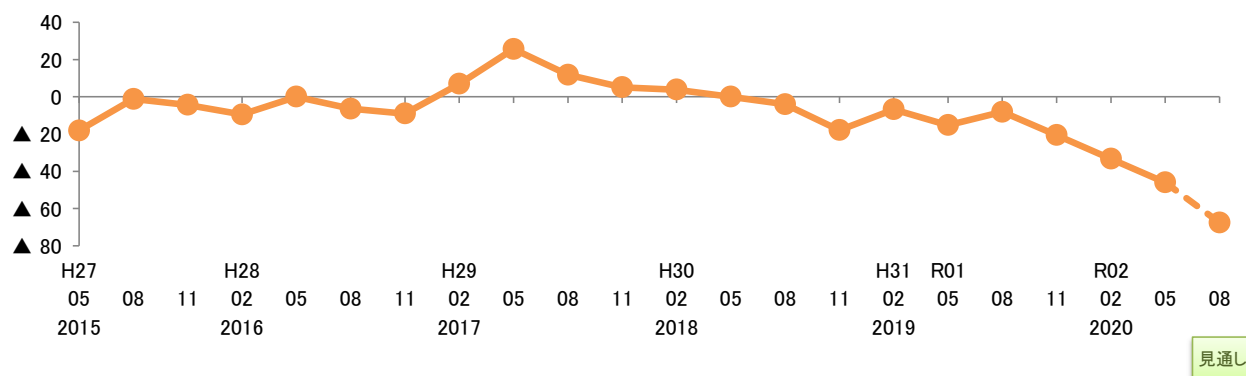
庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 01. 05 (n=77)	▲ 14.3	(▲ 5.5)	▲ 31.3	4.7	▲ 33.3	▲ 20.0	0.0
R 01. 08 (n=74)	▲ 9.4	(4.9)	▲ 35.1	10.0	▲ 30.5	▲ 11.8	0.0
R 01. 11 (n=68)	▲ 19.2	(▲ 9.8)	▲ 18.9	▲ 5.6	▲ 41.0	▲ 27.7	20.0
R 02. 02 (n=78)	▲ 21.8	(▲ 2.6)	▲ 10.3	▲ 27.8	▲ 37.0	▲ 26.3	21.5
R 02. 05 (n=80)	▲ 36.2	(▲ 14.4)	▲ 29.5	11.1	▲ 46.1	▲ 59.1	▲ 42.8
前回調査比	-	-	-	(38.9)	(▲ 9.1)	(▲ 32.8)	(▲ 64.3)
先行き見通し	▲ 63.7	-	-	▲ 44.5	▲ 53.8	▲ 86.4	▲ 71.4
今回調査比	(▲ 27.5)	-	-	(▲ 55.6)	(▲ 7.7)	(▲ 27.3)	(▲ 28.6)

⑥ 庄内飽海

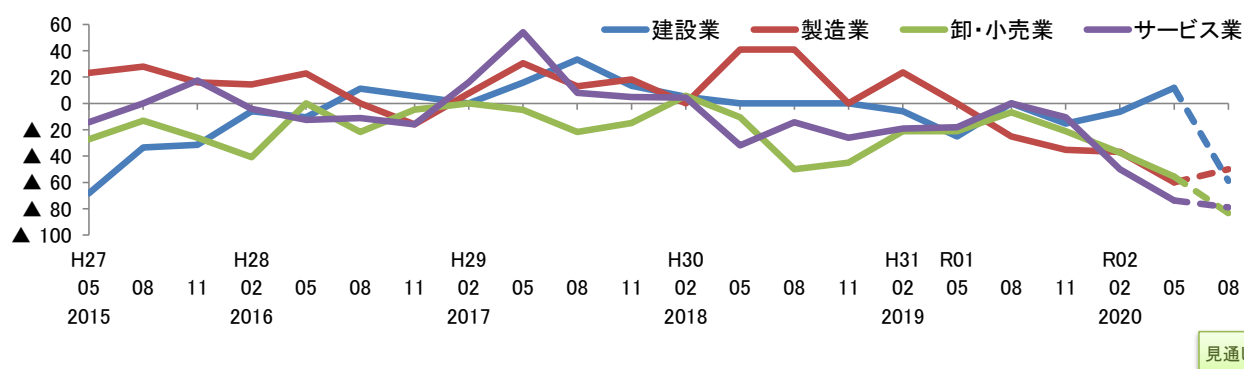
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲46.0（前回調査比 12.7 ポイント下落）と 3 期連続で悪化となった。業種別にみると、建設業で改善したもの、製造業、卸・小売業、サービス業で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲67.5（今回調査比 21.5 ポイント下落）とさらなる悪化が見込まれている。

図表 23 庄内飽海「自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 24 庄内飽海「業種別・自社の業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

庄内飽海 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 01. 05 (n=79)	▲ 15.2	(▲ 8.4)	▲ 18.9	▲ 25.0	0.0	▲ 21.1	▲ 18.2
R 01. 08 (n=74)	▲ 8.1	(7.1)	▲ 30.4	0.0	▲ 25.0	▲ 6.7	0.0
R 01. 11 (n=68)	▲ 20.6	(▲ 12.5)	▲ 13.5	▲ 15.4	▲ 35.3	▲ 21.0	▲ 10.6
R 02. 02 (n=69)	▲ 33.3	(▲ 12.7)	▲ 28.0	▲ 6.3	▲ 36.9	▲ 37.5	▲ 50.0
R 02. 05 (n=74)	▲ 46.0	(▲ 12.7)	▲ 18.9	11.8	▲ 60.0	▲ 55.5	▲ 73.7
前回調査比	-	-	-	(18.1)	(▲ 23.1)	(▲ 18.0)	(▲ 23.7)
先行き見通し	▲ 67.5	-	-	▲ 58.8	▲ 50.0	▲ 83.3	▲ 78.9
今回調査比	(▲ 21.5)	-	-	(▲ 70.6)	(10.0)	(▲ 27.8)	(▲ 5.2)

II. 景気天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$D \geq 30$	$30 > D \geq 10$	$10 > D \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > D \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > D$

山 形 県

今期の業況 → 来期の見通し

庄内飽海

→

最 上

→

庄内田川

→

村山北部

→

置 賜

→

村山南部

→

今期の概況

来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							



	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

III. 特別調査

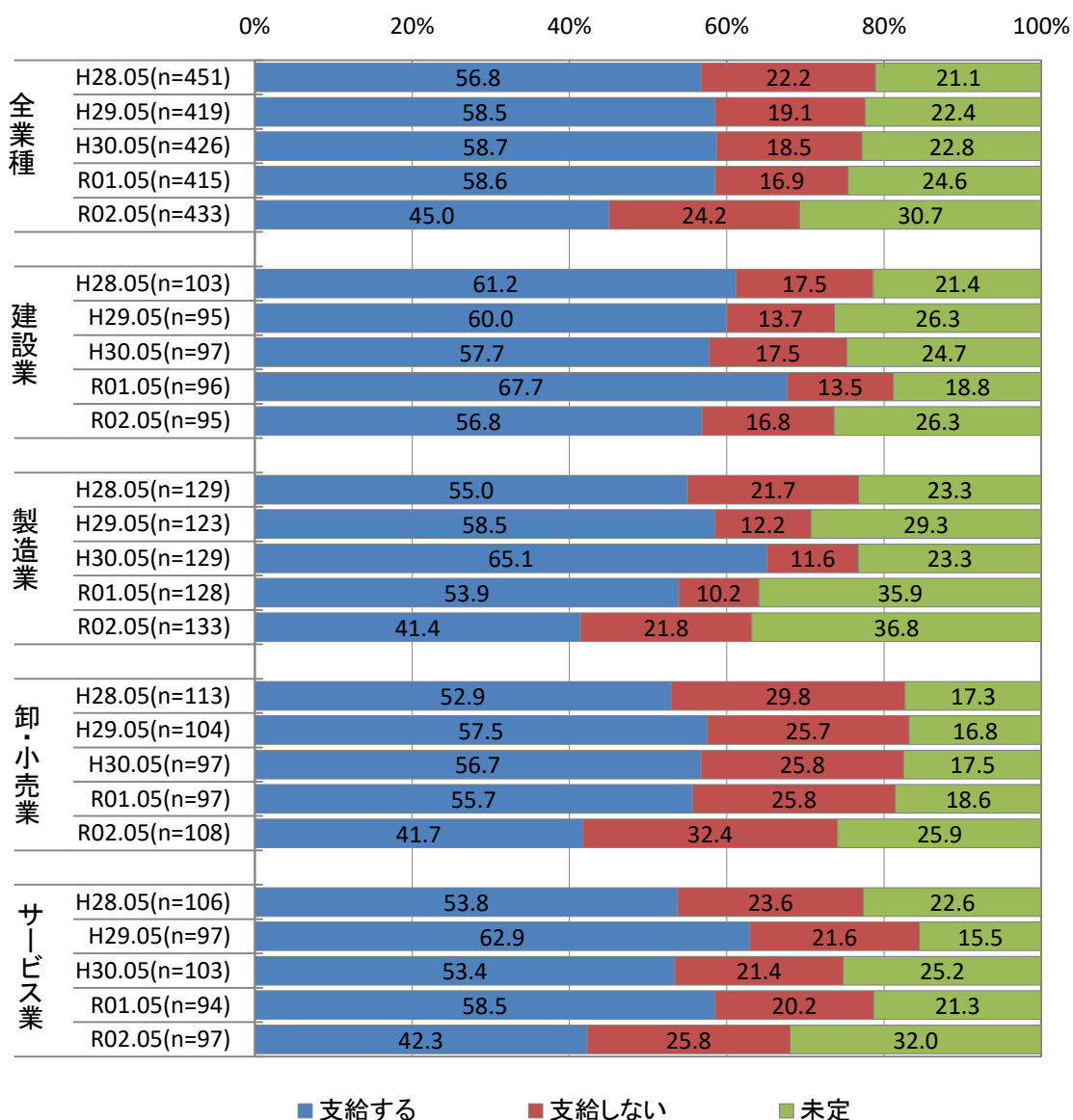
1. 夏季ボーナスについて

(1) 支給予定動向

夏季ボーナスの支給予定について尋ねたところ、全業種でみると、「支給する」と回答した企業の割合は 45.0%と、前年に比べ 13.6 ポイント低下し、5 割を下回った。

業種別にみると、「支給する」と回答した企業の割合は、建設業が 56.8%（前年比 10.9 ポイント低下）、製造業が 41.4%（前年比 12.5 ポイント低下）、卸・小売業が 41.7%（前年比 14.0 ポイント低下）、サービス業が 42.3%（前年比 16.2 ポイント低下）となった。

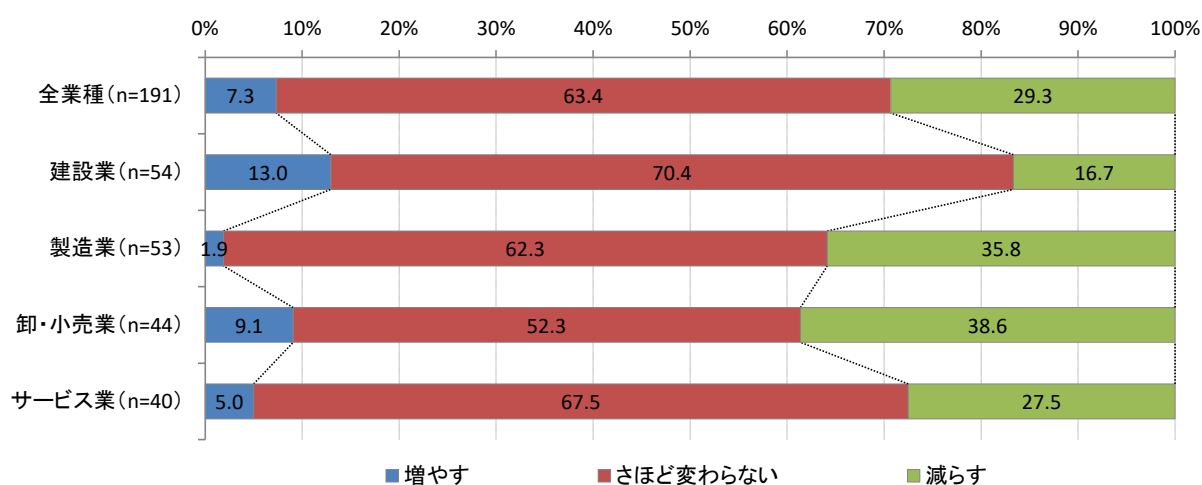
図表 25 業種別 夏季ボーナス支給動向の推移



今季「支給する」と回答した企業に対し、前年夏季と比べて支給額を増やすかどうか尋ねたところ、全業種でみると「さほど変わらない」と回答した企業が 63.4%と最も多く、次いで「減らす」が 29.3%、「増やす」は 7.3%となった。

業種別にみても、すべての業種で「さほど変わらない」が最も多くなっており、「減らす」と回答した企業は製造業で 35.8%、卸・小売業で 38.6%と、他の 2 業種に比べて高くなっている。一方、「増やす」と回答した企業は建設業で 13.0%と高くなっている。

図表 26 業種別 夏季ボーナスを支給する企業の方針

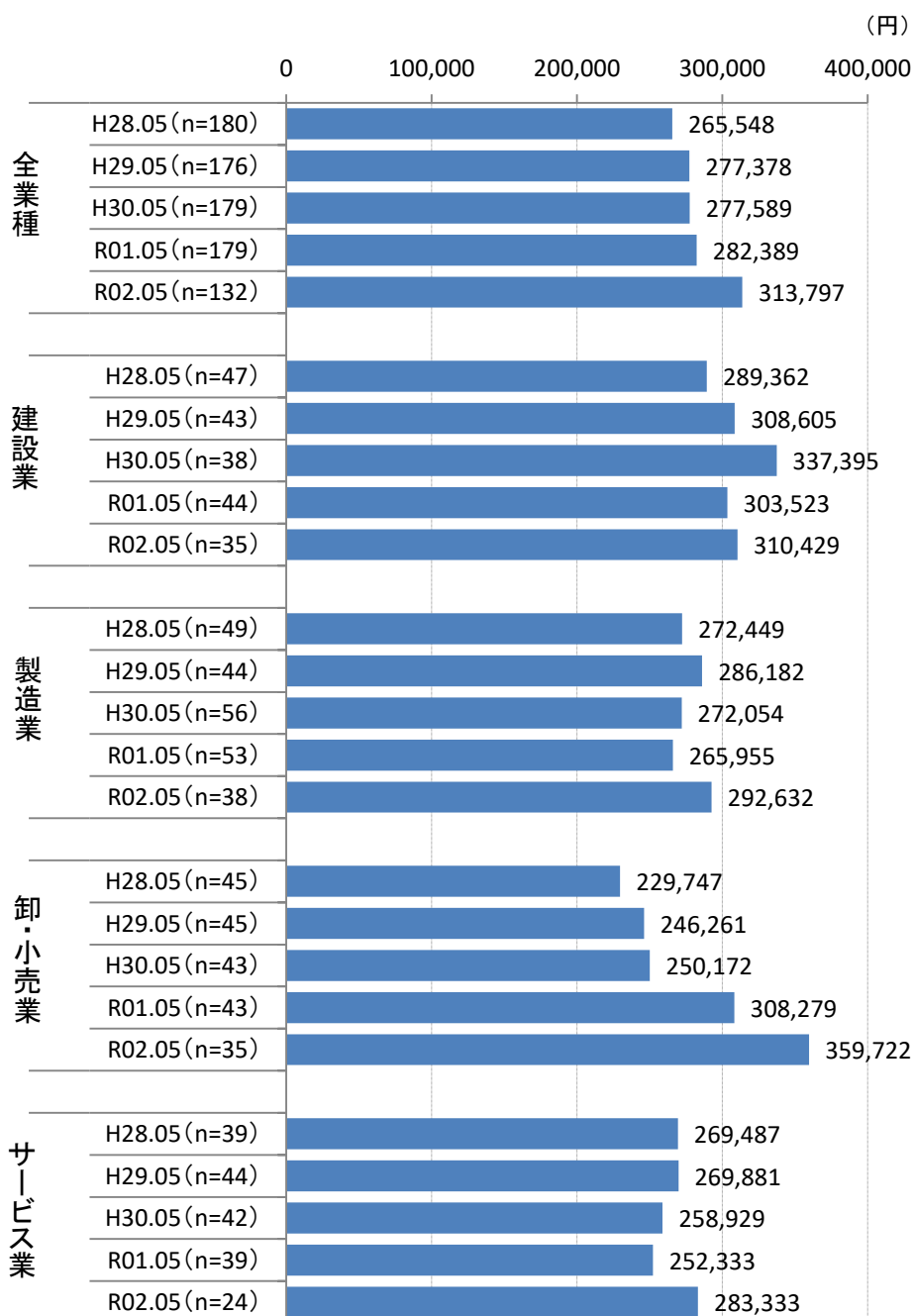


(2) 支給予定額

夏季ボーナスの支給予定額は、全業種平均で 313,797 円となり、前年より増加となった。

業種別にみると、建設業で前年比 0.7 万円増加、製造業で前年比 2.7 万円増加、卸・小売業で 5.1 万円増加、サービス業で 3.1 万円増加と、すべての業種で増加となった。

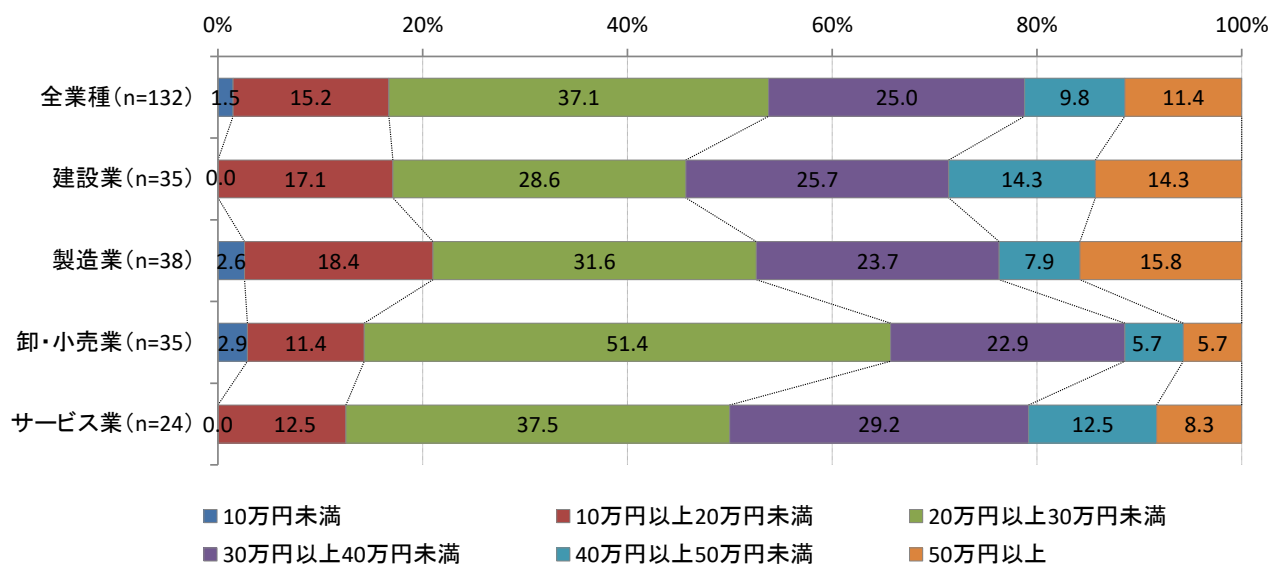
図表 27 夏季ボーナスの平均支給予定額の推移



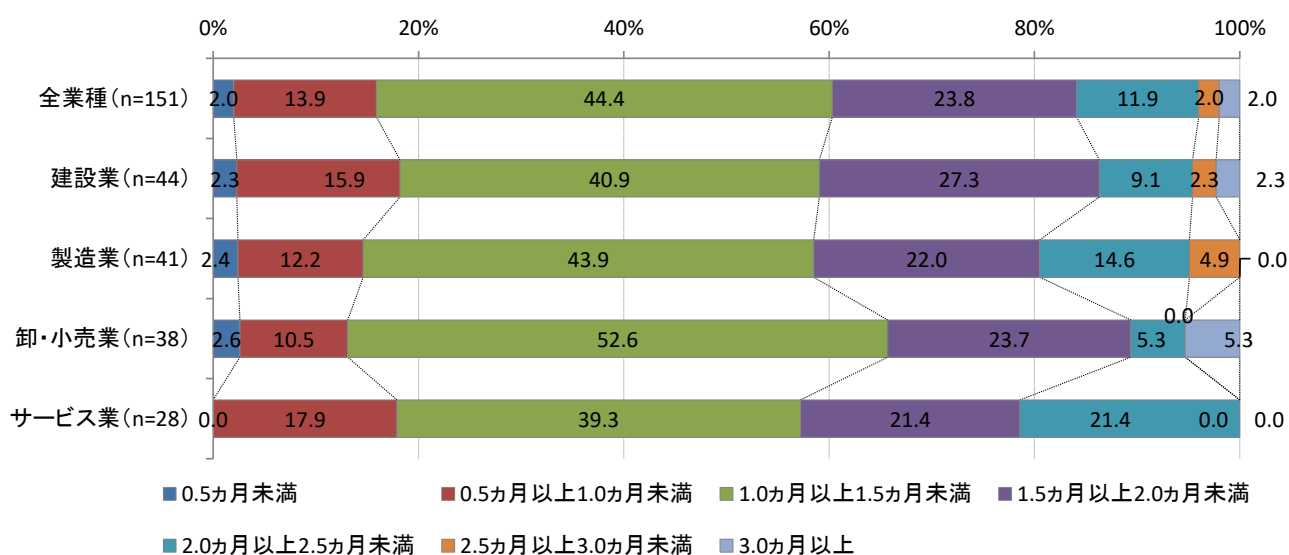
平均支給予定額は、全業種で「20 万円以上 30 万円未満」が最も多く、37.1%となっている。

平均支給予定月数は、全業種で「1.0 カ月以上 1.5 カ月未満」が最も多く、44.4%となっている。

図表 28 業種別 夏季ボーナスの平均支給予定額



図表 29 業種別 夏季ボーナスの平均支給予定月数

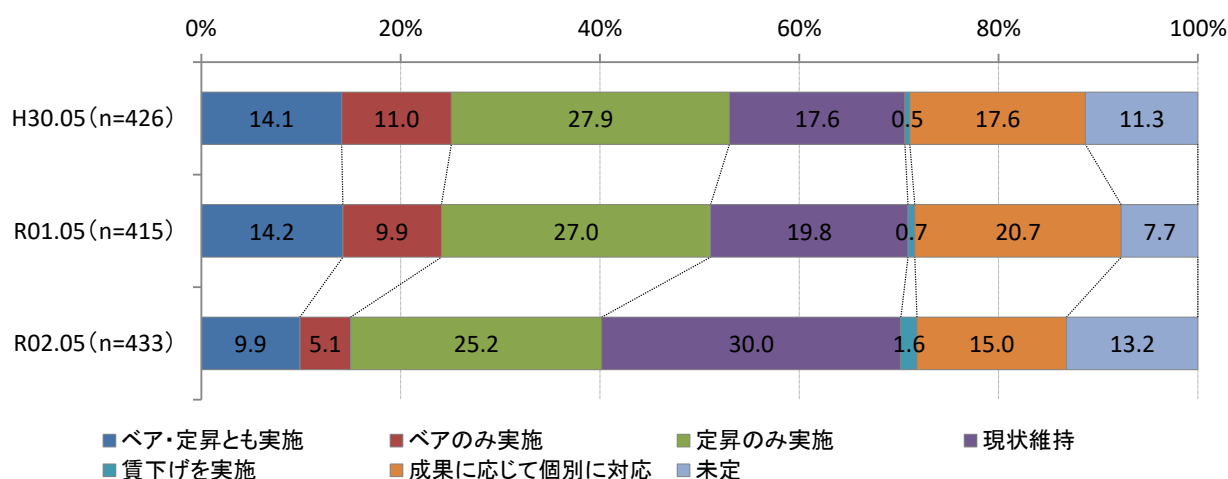


2. 春季以降の賃金改定動向について

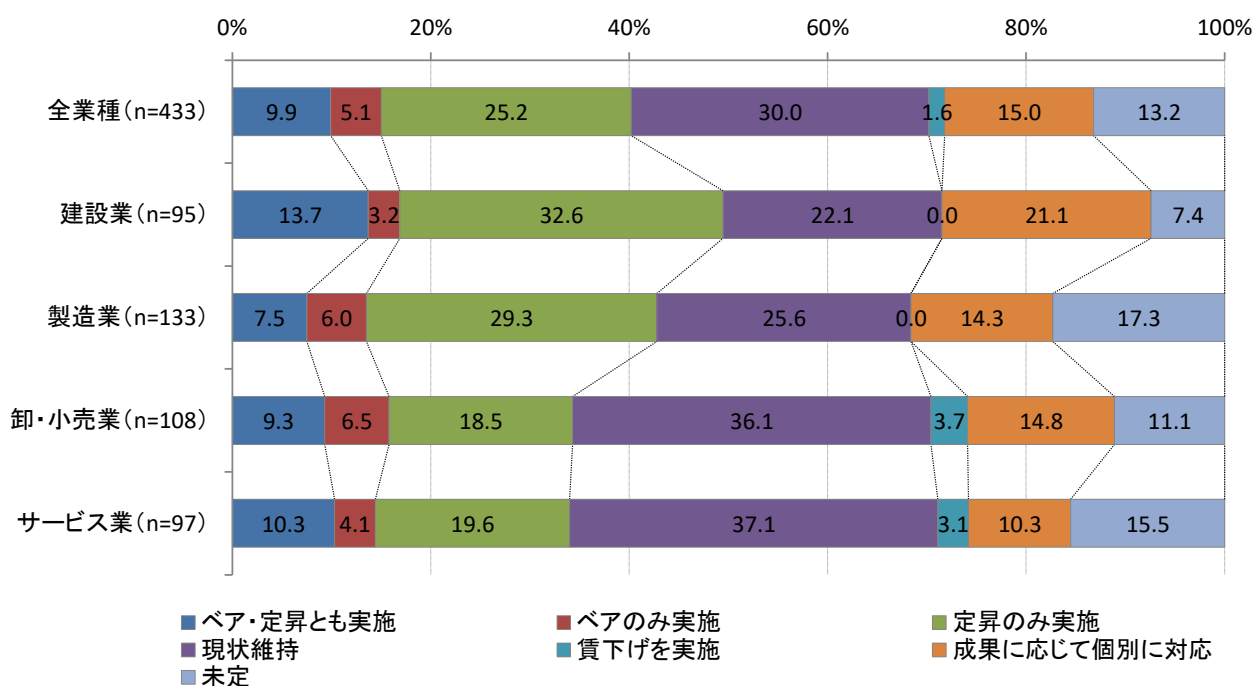
令和2年4月以降の賃金改定動向（ベースアップや定期昇給を実施する（した）か）を尋ねたところ、賃上げを実施する（した）企業の割合（「ベア・定昇とも実施」＋「ベアのみ実施」＋「定昇のみ実施」）は、全業種で40.2%と前年に比べて10.9ポイント低下し、4割台となった。

業種別にみると、賃上げを実施する（した）企業の割合は建設業で49.5%と他業種に比べて最も高く、以下は製造業（42.8%）、卸・小売業（34.3%）、サービス業（34.0%）の順となっている。

図表 30 全業種 賃金改定動向の推移



図表 31 業種別 賃金改定動向

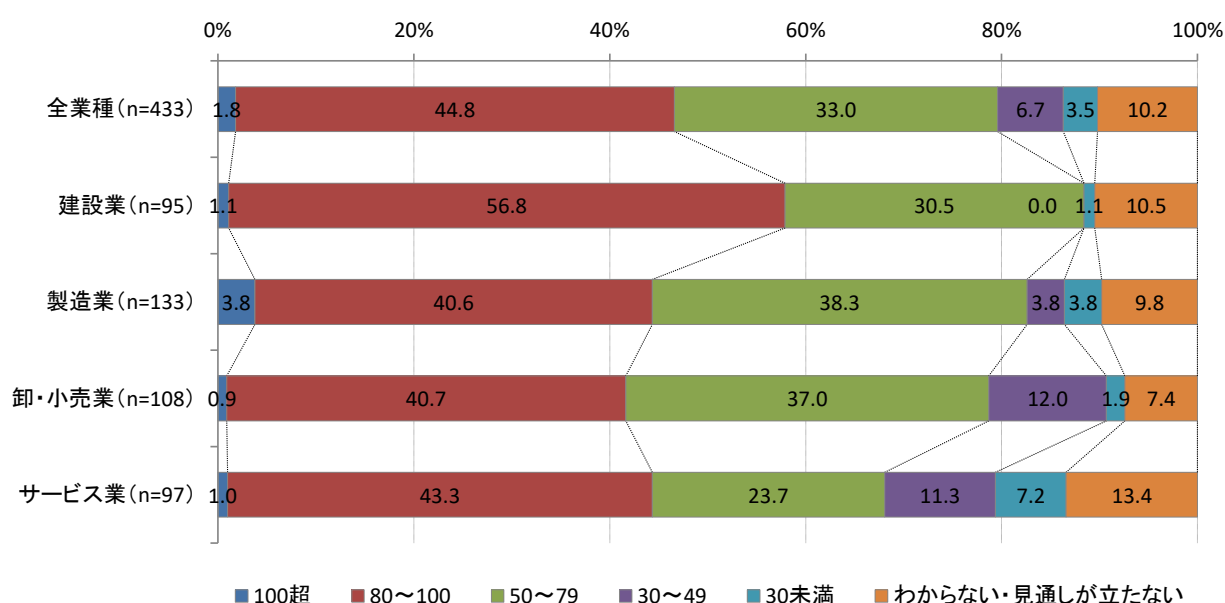


3. 新型コロナウイルス感染症の事業への影響について

新型コロナウイルス感染症の事業への影響について、事業活動全体における平常時の経営状況を 100 とした場合の今年度の業績見通しをたずねたところ、全業種で「80～100」が 44.8%と最も多く、次いで「50～79」が 33.0%となっている。全体の 43.2%が、平常時の 8 割未満に落ち込むと回答し、また、約 1 割の企業が「わからない・見通しが立たない」と回答しているなど、新型コロナウイルス感染症の事業への影響の大きさが表れる結果となった。

業種別にみてもすべての業種で「80～100」が最も多くなっている。一方、サービス業では「わからない・見通しが立たない」が 13.4%と他業種に比べて高い割合を示している。

図表 32 業種別 新型コロナウイルス感染症の事業への影響（平常時の経営状況＝100 とした場合）



<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	22	35	45	55	157
村山北部	20	34	17	18	89
最 上	21	18	10	18	67
置 賜	23	29	25	13	90
庄内田川	29	38	29	29	125
庄内飽海	34	33	31	37	135
合 計	149	187	157	170	663

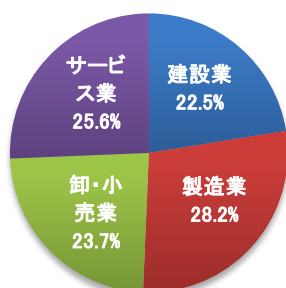
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	18	26	31	40	115
村山北部	11	24	15	9	59
最 上	18	12	8	7	45
置 賜	13	25	14	8	60
庄内田川	18	26	22	14	80
庄内飽海	17	20	18	19	74
合 計	95	133	108	97	433

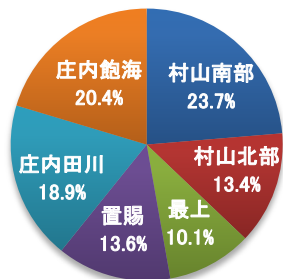
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合 計
村山南部	81.8	74.3	68.9	72.7	73.2
村山北部	55.0	70.6	88.2	50.0	66.3
最 上	85.7	66.7	80.0	38.9	67.2
置 賜	56.5	86.2	56.0	61.5	66.7
庄内田川	62.1	68.4	75.9	48.3	64.0
庄内飽海	50.0	60.6	58.1	51.4	54.8
合 計	63.8	71.1	68.8	57.1	65.3

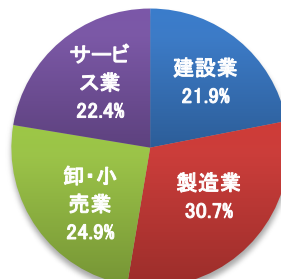
サンプル割合（業種別）



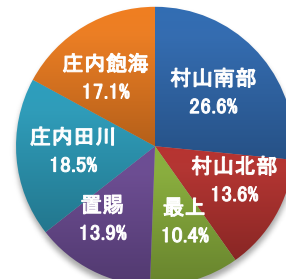
サンプル割合（地域別）



回答社割合（業種別）



回答社割合（地域別）



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部 F A X を利用）

● 調査期間

令和 2 年 5 月 11 日(月)～20 日(水)

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項 目	選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製 (商) 品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採用している

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況 D I 値

= (「1. 良い」と回答した企業の割合) - (「3. 悪い」と回答した企業の割合)

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (https://www.fir.co.jp/report/report_y_keiki) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社 フィデア情報総研

リサーチ&コンサルティング事業本部 熊本 均 / 松田 美由紀

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-2 1 荘銀山形ビル 8 F

TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@fir.co.jp URL : <https://www.fir.co.jp/>